

エコのことなら
僕にお任せ！



「とうかい環境村民会議」だより

Vol.6

環境活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す“エコレンジャー”——それが私たち「とうかい環境村民会議」です！私たちの活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画推進担当(☎282-1711 内線1454)



自然共生社会部会の活動をご紹介します

自然共生社会部会

とうかい環境村民会議の4部会のうちの1つ「自然共生社会部会」では、“水とみどりの環境拠点をつくる”をメインテーマとして、環境整備等の活動をしています。今回は、最近の活動について、ご紹介します。



サワギキョウの花

水神堂のサワギキョウが、今年も増えました(9月24日)



舟石川・船場地区自治会(建設・環境部会)の皆さんと一緒に、水神堂でサワギキョウの植栽作業を行いました。この時期、水神堂の生い茂った草の中には、紫色のサワギキョウの花が点々と咲いていました。新しい苗を植えるために、まず外来種のセイタカアワダチソウを抜き、伸びている雑草を刈って整地した後、舟石川コミュニティセンターで大切に育てたサワギキョウの苗を、丁寧に植え付けました。沼地の泥に足をとられながら作業した後、参加者からは「蛸も増やしたい」、「ハナショウブ園もいいですね」といった前向きな意見が聞かれるなど、ボランティア活動で心地良い汗を流すことができました。来年のサワギキョウの開花が、今から楽しみにになりました。皆さんもぜひ一度、見に来てください。



総合福祉センター「絆」の裏で、珍しい生き物を発見!(9月27日)



今後の環境変化に備えるために、昨年「絆」の裏側の地域で生き物の基礎調査をしており、今回、4回目となる調査を行いました。「どうぶつチーム」は、廣瀬誠さん(茨城県環境アドバイザー)指導の下、道端や水辺の生き物を調査し、緑色の大きなヒルや、貴重なコオイムシ(写真右)を見つけることができました。一方、「みどりチーム」は、安嶋隆さん(茨城県環境アドバイザー)のアドバイスを受けながら、主に耕作放棄された水田の植生変化などを調査し、休耕から1~2年で大きく変貌することが分かりました。なお、今回の調査では、部会員のお父さんと一緒に参加した、生き物好きな女の子が大活躍してくれました。



いよいよ野菜作りが始まります!

循環型社会部会

循環型社会部会では、「広報とうかい」(10月25日号)でご紹介したダンポールコンポストのほかにも、EM菌を使ったたい肥づくりを行っており、これらのたい肥を活用するために、「エコーいばらき」環境保全基金の助成金を利用して、石神地区にビニールハウスを設置しました。今後、このハウスの中で、たい肥を利用した実験的な作物の栽培に取り組んでいきます。

